

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第15回  
大分県代協

自信を持ち、より一層の  
社会貢献としての営業活動に邁進する

昨年の大分県損害保険代理業協会では大分・別府支部を中心に、改正保険法を踏まえた上で「代理店経営」について考えるセミナー開催を企画し、7月と12月に無事開催することができました。

令和元年4月に大分・別府支部総会を行い、年間活動計画を決定し早速6月の支部役員会にて7月開催のセミナー内容につき話し合いを持ち「令和時代の代理店経営」と題して「今後の生保ビジネスポイント」と題して賛助会員である日本生命保険代理店営業本部より講師を招き、第一部では、専門代理店さんと創る保険の「ライ」と題し、東京海上日動大分支店、大分別府支部会員の東海日動パークの会長を務められてトナース九州の鈴木支店長、県南支部会員のアルファの安東代表取締役が講演をしていただきました。参加人数は講師を含めて50名を上回りました。懇親会参加人数も20数名と大盛況で終えることができましたと自負しております。

8月に支部役員会を行いセミナーの反省や12月のセミナーについての行い方を話し合いました。一番の反省点は、アンケートを準備していなかったことで、それを踏まえ12月開催のセミナーについては、最初に会員が取り上げて欲しいテーマをアンケート方式で吸い上げ、テーマ候補としては①乗合・専属の利点・不利な点②FD宣言③BCP策定④人事評価制度⑤品質と規模拡大等を取り上げ、その結果「品質と規模拡大」がテーマとして選ばれました。

10月の支部役員会でセミナーの打ち合わせを行い、講師を代理店から1社、保険会社1社にお願いすることになりました。代理店は九州北プロックの会長を務められている北島香代子氏が代表取締役会長のnikottoへ依頼し、保険会社はあいおいニッセイ同和損保へ依頼することになり、どちらも快くお引き受けいただきました。

第一部では「ITを活用した経営理念の実長」と題して、nikottoの山田社長が「代理店に求められる内部管理体制とBCPについて」と題してあいおいニッセイ同和損保に講演していただきました。先にテーマを会員に選んでもらったことが功を奏し7月のセミナー懇親会同様多くの大分県代協会員代理店、また大分県下の非会員代理店に参加いただきました。

大分県代協は平成30年度より新体制となり、初年度は県代協と大分・別府支部合同のセミナーを開催したり、損保協会と懇親を深めたり、日本生命も賛助会員になっていただき、お互いの連携のもと代協としての幅広い活動を行っております。

改正保険法施行より丸三年経過した今、様々な不安を抱えながら営業活動に専念する我々代理店(代協会員)は、代協活動の中でお互いに切磋琢磨しつつ保険会社も交換情報交換に勤しみ、自信を持ってより一層の社会貢献としての保険の案内(営業活動)に邁進していきたいものです。

第一部では「ITを活用した経営理念の実長」(執筆者 永田哲朗副会長)



セミナーの様子